

# 「ランドスケープ作品選集 2018 (No.14)」の投稿募集

隔年で刊行される作品選集は、前号よりランドスケープアーキテクトのより広い職能の在り処を示すことを目的にさらなる改革を進め、現在の多様なランドスケープ作品がまとめられた作品選集となることを目指しています。このため、今号では、設計され竣工したものだけが「作品」ではないことを明確にし、物理的な空間のデザインのみならず、社会的なしくみのデザインやプロセスのデザインも作品として扱う方針とし、応募区分などの見直しを図りました。ランドスケープに関わる幅広い分野からの応募を期待しています。また、この「ランドスケープ作品選集」の発行・運営は、計画・設計実務をされている学会員の積極的な参加により成立しております。ランドスケープ設計界の発展と情報共有のメディアとして重要な本誌への精力的な応募をお待ちいたします。なお、日本造園学会賞候補へのノミネートも、この作品選集から推薦が行われます。さらに、掲載作品の筆頭者、連名者ともにCPD制度の単位取得がなされます。誌面のさらなる充実とともに、応募経費の減額にも努めておりますので、数多く応募していただけることを期待しております。

## ランドスケープ作品選集 2018 (No.14) 応募要領

### 1. 応募区分

(1) **空間設計部門**：本会正会員により企画、計画、設計され、応募登録時に竣工している設計作品。完成までに長い年月を要する物件において部分的に竣工したもの、イベントなどで期間を限定して設けられ、消失したものについても応募対象とする。

(2) **計画・企画部門**：本会正会員により計画・企画され、応募登録時に事業が完了し、一般に公表されている計画・企画作品。景観や環境の保全や創造を目的とした事業に限らず、広く社会的課題解決に向けたまちづくりに関する事業についても対象とする。

応募作品イメージ：

- ・自然や景観の保護・保全のための環境計画
- ・都市における緑地の保全・創出にかかわる計画
- ・文化財の保全・活用や歴史まちづくりにかかわる計画・企画
- ・市民との連携・協働や公民連携まちづくりのしくみづくり
- ・地方創生や地域活性化のための移住・観光に関わる計画やコミュニティデザイン
- ・健康長寿社会のためのヘルシーパークプログラム
- ・都市施設やまちの持続的運営・利用のプログラム
- ・計画/企画策定における意思決定プロセスのデザイン など

(3) **エイジング・マネジメント部門**：本会正会員により企画、計画、設計され、竣工後、設計意図を満たす空間に達するまでに概ね5~10年以上を要した設計作品（エイジング）。または、維持管理や運営・活用などの継続的な活動により、景観や環境をはじめとした社会的価値の向上を果たした作品（マネジメント）。なお、エイジング・マネジメント部門は過去の掲載作品も対象とする。

応募作品イメージ：

- ・地形や樹林の復元、再生を目指した公園
- ・植物の生長、添景物のエイジング等を想定した設計、施工により優れた景観を得た庭園
- ・段階的整備により優れた景観を創出した街区、広場
- ・地域の再生のためのパークマネジメントやエリアマネジメント
- ・環境形成のための継続的活動のマネジメント など

審査にあたり、経年変化を意図した計画、設計の図面、資料の提出を求める。施工前後や経年観察の資料も用意すること。

※いずれの部門ともに分野、規模、用途、地域（国外も含む）などは問わない。なお、造園学会賞受賞作品は別途掲載を依頼する。

### 2. 応募資格

応募者は本会正会員であって、応募作品の主要な企画、計画、設計担当者であること。連名者には非会員を含むことができる。応募作品の発表については、事前に関係者の合意を得ておくこと。

### 3. 応募件数

1 会員1 事業所当たり全部門併せて3 件を上限とする。

### 4. 応募方法

(1) 応募登録:2016年11月1日から2017年1月20日までに、所定の応募登録書を委員会幹事までメールにて申し込みすること。登録書は学会ホームページよりダウンロード可。

(2) 作品応募:応募登録後、郵送される応募要領にもとづいた作成資料を、2017年2月17日までに学会事務局へ提出する。

### 5. 選考方法

選考は、応募区分ごとに行われるものでなく、全作品を横並びにして、総合評価として選考される。選考方法は、造園作品選集刊行委員会による規定審査と、造園作品選集委員会による内容審査の二段階で行う。

規定審査では、①書類規定審査（応募資料が適正か）、②現地規定審査（空間設計部門・エイジング・マネジメント部門を対象に、現況との照合、設計・計画意図が適切に達成されているか、計画・企画部門は、実在の対象地に対する実施妥当性を持つ提案であるか等）を行う。

内容審査では、応募資料と規定審査結果に基づいて掲載作品の選考を行う。選考基準は次のとおりとする。

#### 〔選考基準〕

- ①プログラムの設定及びプロセスにおける論理性
- ②調査・分析プロセスや計画・設計における手法のオリジナリティ
- ③地域環境の保全・開発に対する貢献度
- ④関連分野との協働性
- ⑤計画、機能、環境、材料、工法などの合理性
- ⑥社会性、歴史性、文化性からみた地域風土、景観への適合性
- ⑦敷地の空間的ポテンシャルの発揚度
- ⑧職能・教育現場への貢献度
- ⑨社会的インパクト
- ⑩ビジュアルプレゼンテーションの創造性・審美性

### 6. 選考結果

選考結果は2017年6月末までに応募者に通知する。

### 7. 掲載原稿

執筆要領にもとづいて作成した掲載原稿を、2017年7月下旬までに委員会幹事及び学会事務局へ提出する。

### 8. 作品選集の刊行

ランドスケープ研究増刊号として2018年1月に発行を予定。各作品原稿（見開き2ページ）に刊行委員会による作品評を合わせて掲載する。なお、別刷りは行わず、同誌を有料頒布する。

### 9. 応募料および作品掲載料

(1) 応募料：1作品20,000円。応募要領資料に同封される振込用紙にて応募資料の提出と同時に納入する。応募登録だけで作品応募を行わなかった場合、事務手数料1000円を別途、振込むこと。

(2) 作品掲載料：著者および連名者1名あたり10,800円（消費税含む）を採用通知書に記載された期日までに納入する。

### 10. 掲載時作成実費負担金

1作品最大86,400円（消費税含む、前号の実績は54,000円）を予定。金額は掲載原稿提出後に通知する。

### 11. 著作権

掲載記事の著作権は応募者に帰属するが、その運用については本会が代行する。

### 12. その他

- ①応募登録書は学会ホームページからダウンロードすること。
- ②掲載決定作品の選考資料、掲載原稿はともに返却しない。
- ③選考資料、掲載原稿作成に要する費用は応募者の負担とする。
- ④選考結果で優秀と判断された作品については造園学会賞選考委員会への推薦を行う。
- ⑤CPD制度の単位取得数は、教育形態Ⅱ(260,261)「作品等に関する発表(学術雑誌への審査付き発表)」として、責任者:40単位/件、担当者・連名者:10単位/件が認められる。

### 13. 応募・問い合わせ先

(公社)日本造園学会事務局 造園作品選集刊行委員会  
〒150-0041 東京都渋谷区神南1-20-11 造園会館6階  
E-mail sakuhin@jila-zouen.org  
委員会幹事 岸 孝